

<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>

近畿学校保健学会通信

No.146

平成 29 年 3 月 3 日発行
近畿学校保健学会事務局
〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘 3-11-1
関西福祉科学大学 大川研究室
TEL&FAX : 072-947-1307
Mail : kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振込口座 00940-5-181826

目 次

出口庄佑先生を偲んで 2
第 64 回近畿学校保健学会開催要項 3
第 5 回研修セミナー報告 9
第 2 回近畿学校保健学会幹事会議事録 11
関連学会開催日程 12
編集後記 12

会費納入と会員勧誘についてのお願い

今年も年度末となりました。本学会は会員の皆様の年会費を主な財源として運営しております。平成28年度の会費（3,000円）をまだ納めておられない方は、早急にお振込み下さいますようお願いいたします。

また、会員の皆様には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。なお、入会案内パンフレットおよび入会申し込み用紙は、ホームページからダウンロード出来ますので、よろしくお願い申し上げます。

出口庄佑先生のご逝去を悼む

平成 27 年 8 月 2 日、名誉会員出口庄佑先生が肝臓がんのために逝去されました。享年 90 歳でした。

先生は、昭和 27 年大阪大学医学部を卒業され、運動生理学の研究をすすめられていましたが、昭和 35 年神戸大学教養部の助教授に就任されました。当時私は神戸大学教育学部にいたので、親しくさせていただきました。

晩年の先生のお言葉として、本学会の 50 周年記念誌のなかで、名誉会員の立場から次のようなコメントを残しておられます。

「戦後の教育の中で、健康に関する問題は重要な位置付けがなされました。さすれば学校保健は教育の主軸であるはずであります。ただ、学校における現場においては、長年の担当者の努力にもかかわらず、なお、学校教育の支柱として定着しきれないもどかしさを感じましたが、当今はいかがでしょうか。学校保健関係者の更なる努力も必要ですが、学校の構成員全員がこぞって、広い視野を持ち、健康について考えを深めていくべきだと思います。(中略) 現在、非常に緊迫した国際情勢にあります。かつて私は、昭和 20 年 8 月 6 日、広島にあって、太平洋戦争の終結を決定づける原爆の投下される瞬間を、市内に続く丘の上で見詰めていました。それから 50 余年を経て、全く戦争を経験したことのない世代の人が、これからどう考え、どう行動するか。学校教育が果たす役割と責任は重いものがあります。」

出口先生が書かれた時から、さらに 10 余年が過ぎましたが、今も現状は変わらない、あるいは、もっと厳しくなっている中で、先生のお言葉は、遺言のように重く心に響くものがあります。

先生の本学会とのかかわりは第 5 回総会で、「中学校野球選手の疲労度と学校保健の立場よりの指導」と題する研究発表をされて以来のことで、その後、神戸大学教養部、大阪大学教養部、大阪大学医療短期大学部、奈良女子大学文学部、聖母被昇天学院女子短期大学部と続いて教育・研究にあたっておられ、後半のほとんどの時期は、学部長または学長として、大学の管理運営にあたっておられました。その間、本学会の評議員・幹事も、名誉会員になれる平成 10 年まで続けておられましたが、特に大きなご功績は、会長として第 26 回総会を奈良女子大学で開催されたことです。先生は学会通信 No.35 に掲載された会長挨拶の中で、次のように述べておられます。

「この学会の特徴は、学校保健に関係する教育、研究、管理等いろいろの分野の方々によって構成されていることです。学徒の健康をこい願い、学校保健の発展に力を尽くす心は人後に落ちない方々ながら、従来ともすれば意志の疎通が不十分であったように思われます。研究者は自らの学理を教育現場に役立てることを念頭に置くべきであり、現場の担当者はその実践を学問的にも位置付けることに考慮を払うべきでありましょう。相互の理解と交流によって学校保健の一層の進展を望みたいと思います。今回の学会では、特にこの「研究と実践の融合による学校保健の発展」を大切にしていきたいと考えております。」

このお考えも、今の時代にも求められる課題だと思います。

先生のお人柄をしのびつつ、ご冥福をお祈りします。 合掌

和歌山県立医科大学 名誉教授 武田眞太郎

第 64 回近畿学校保健学会開催要項

第 64 回近畿学校保健学会会長 内海みよ子
和歌山県立医科大学 保健看護学部

第 64 回近畿学校保健学会を、下記の通り開催いたします。学会では、学校現場などでの実践報告も歓迎いたします。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

1. **学会テーマ** 「すべての子どもが生き生きと過ごせる環境を目指して」
2. **会場** 和歌山県立医科大学保健看護学部（三葛キャンパス）
(<http://www.wakayama-med.ac.jp/access/index.html> でご確認ください)
〒641-0011 和歌山市三葛 580 (JR 紀三井寺駅「東口」より徒歩約 10 分)
3. **日時、内容** 平成 29 年 7 月 1 日(土) 10:00~17:15 (予定) 受付 9:30 ~

午前 一般演題
昼食
午後 評議員会、総会
特別講演「パンダ飼育といのちのつながり」
講師 熊川智子 (アドベンチャーワールド)
教育講演「いのちの教育と自尊感情」
講師 近藤 卓 (山陽学園大学)

4. 一般演題申込、抄録作成

演題は、平成 29 年 4 月 14 日(金) までに、第 64 回近畿学校保健学会事務局までお申込みください。一般演題発表者は、共同研究者を含め正会員であることが必要です。会員でない方は、事前に入会手続きを行ってください。

抄録は、平成 29 年 5 月 19 日(金) までに、A4 サイズ 1 枚で作成し、第 64 回学会事務局宛、メールでお送りください。

[E メール送付先: gakuho64@wakayama-med.ac.jp]

締め切り

演題申込	4 月 14 日(金)
抄録締切	5 月 19 日(金)
事前申込	6 月 16 日(金)

5. 近畿学校保健会奨励賞

対象者は、一般演題の発表者のうち、大学院生、学部学生、若手研究者（申込時に 40 歳未満）に該当する方です。該当者は演題申込書の所定の欄に○印をつけてください。

6. 参加申込、参加費

- ・学会正会員（但し、平成 29 年度会費納入者） 1,000 円
- ・当日会員（学会員ではない場合） 2,000 円
- ・大学院生 1,000 円
- ・学部学生（抄録集は有料：500 円となります） 無料

※ 参加費は学会当日、会場でお支払いください。

※ 学会員でも、年度会費の納入がない場合は当日会員扱いとなり、参加費は 2,000 円となります。

※ 近畿学校保健学会の会員ではなくても、また事前申込みをされていなくても、当日会員として参加できます。

7. 昼 食

会場付近には食事をするところがありません。お弁当（お茶付き 800 円）を準備いたしますのでご利用ください。お弁当の配布は事前申込みの方を優先します。希望される方は平成 29 年 6 月 16 日(金)までに別紙 3 にてご連絡ください。

8. 懇親会

7 月 1 日(土)の学会終了後、18 時から、ホテルアバローム紀の国にて懇親会を開催いたします(会費 4,000 円)。会場より無料マイクロバスが出ます。準備の都合上、参加申込みは、平成 29 年 6 月 16 日(金) までをお願いいたします。当日受付も可能です。ぜひご参加ください。

9. 様式等ダウンロード

演題申込書(別紙 1)，抄録様式(別紙 2)，事前参加申込書(別紙 3)は下記よりダウンロードできます。<http://kinki-sha.org/next/index.html>

10. 演題申込・問い合わせ先

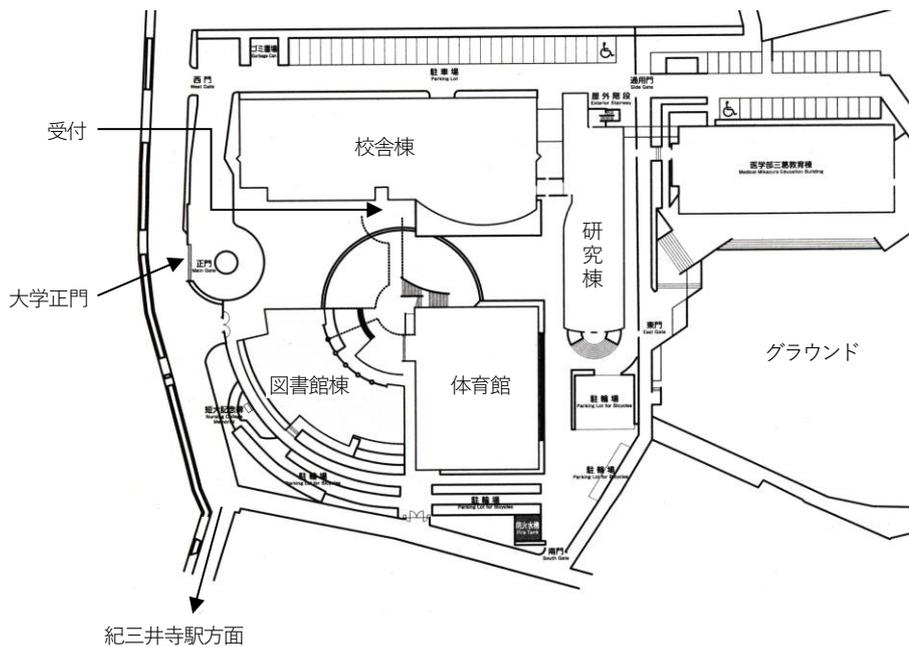
第 64 回近畿学校保健学会事務局
〒641-0011 和歌山市三葛 580
和歌山県立医科大学保健看護学部：宮井信行
Tel: 073-446-6700 Fax: 073-446-6720
E-mail: gakuho64@wakayama-med.ac.jp

11. 会場までのアクセス

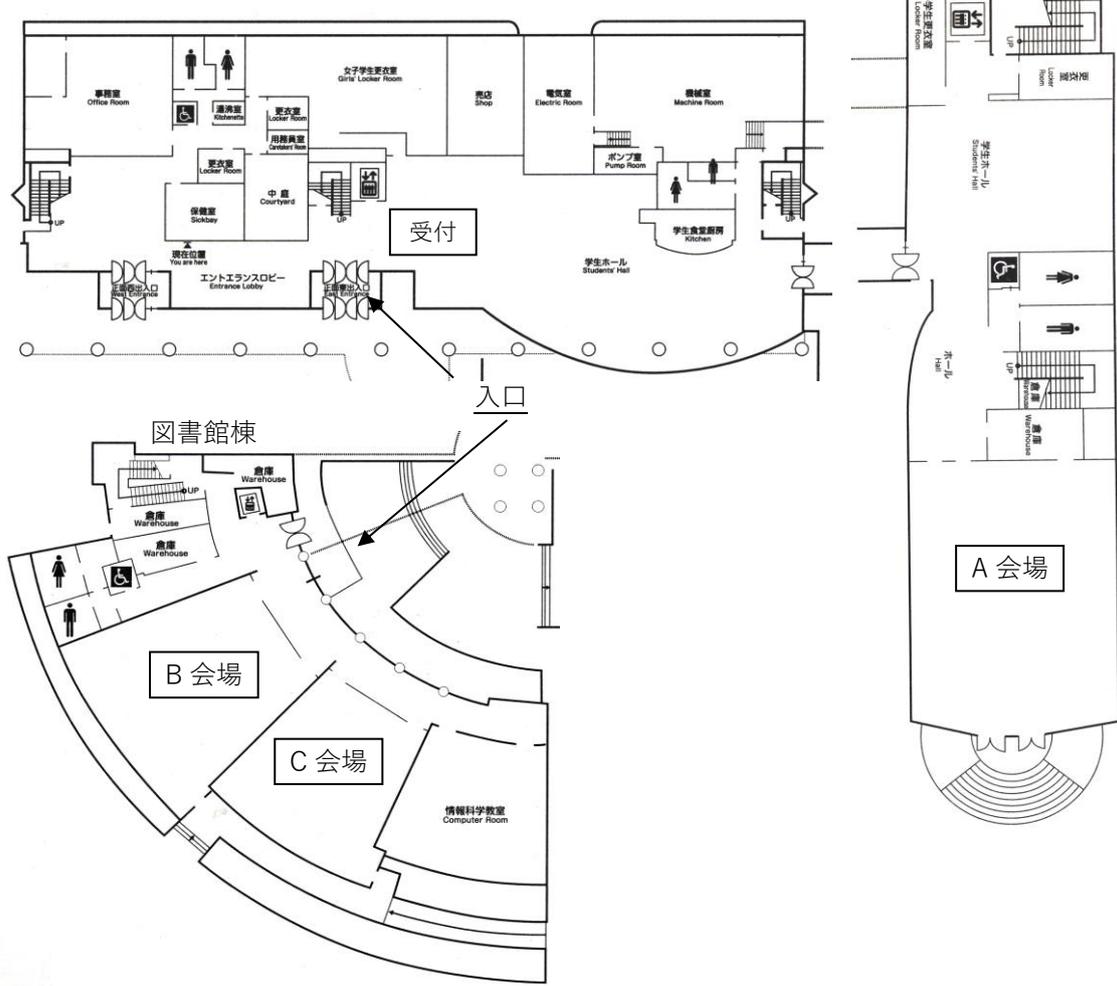


- JR 紀三井寺駅下車 徒歩約10分
- 阪和自動車道 和歌山インターより 車約20分
- JR 和歌山駅より和歌山バス三葛停留所下車 徒歩約10分
- 天王寺～和歌山駅 JR阪和線(快速)約1時間

会場案内図



受付場所 (校舎棟 1 階)・会場



演題発表・抄録原稿の作成要項

1. 演題申込

別紙 1 の演題申込書を学会ホームページ

<http://kinki-sha.org/next/index.html> よりダウンロードし、必要事項を記入の上、平成 29 年 4 月 14 日(金) までに、E メールでお申込みください。

締め切り

演題申込	4 月 14 日(金)
抄録締切	5 月 19 日(金)
PPT 提出	6 月 23 日(金)

2. 抄録原稿作成要項

抄録用原稿は、各自下記の要項にしたがって作成し、平成 29 年 5 月 19 日(金) までに、E メールに添付してお送りください。必要に応じて、別紙 2 の「原稿見本」をご利用ください。

- ・抄録原稿は、原則として、Microsoft Word で作成してください。
- ・様式は、A4 用紙 1 ページで、上下 30mm、左右 25mm の余白枠を確保してください。
- ・演題名は、中央に配置して、文字は 12 ポイントで強調文字にしてください。
- ・一行空けて、発表者氏名、共同研究者氏名、所属を右寄せにして、10 ポイントで記入してください。発表者名の前に○印をつけてください。
- ・一行空けて、キーワードを 3 から 5 個、左寄せにして 10 ポイントで記入してください。
- ・改行して本文となります。本文は 10 ポイントで 2 段に分け、1 段当たり 1 行 24 字で、中央は 3 字空けて 40 行で収めてください。MS 明朝または MS ゴシックを使用ください。
- ・本文では、研究・実践目的、研究・実践方法、研究・実践結果および考察を明確に簡潔に記述ください。必要があれば収まる範囲で、図表（モノクロのみ可）を入れてください。
- ・抄録原稿の送信は、平成 29 年 5 月 19 日(金) までに E メールをお願いします。
- ・添付ファイルにて、ファイル名「発表者名（例えば、和歌山太郎）」として添付し、件名は「抄録原稿」として送信してください。[E メール送付先:gakuho64@wakayama-med.ac.jp]

3. 発表時刻等のお知らせ

抄録原稿をいただいた後、E メールでお知らせします。

4. 発表についての留意事項

- ・発表は、1 演題につき、発表時間 8 分、質疑応答時間 4 分を予定しています。
- ・学会当日は、発表用のプロジェクター、コンピュータ (PC) を準備いたします。
- ・発表用 PC は、Windows7 で、アプリケーションは Microsoft PowerPoint 2010 になります。発表用ファイルは、平成 29 年 6 月 23 日(金) までに学会事務局にメールでお送りください。ただし、ファイル容量が 5MB を超える場合は、CD-R 等で郵送してください。
- ・PC を持ち込んで発表される場合、プロジェクターの接続コネクタは D-sub15 ピンです。HDMI または iPad 等のタブレットには対応していません。PC のモニター出力端子の形状をご確認のうえ、必要に応じて変換コネクタ(ケーブル)等をご用意ください。
- ・動画の使用は、原則としてお控えください(必要な場合は事務局で相談に応じますので、事前にご連絡ください)。
- ・資料を配布される場合は 70 部をご用意ください。

5. 問い合わせ先：第 64 回近畿学校保健学会事務局

〒641-0011 和歌山市三葛 580 和歌山県立医科大学保健看護学部：宮井信行

Tel: 073-446-6700 Fax: 073-446-6720 E-mail: gakuho64@wakayama-med.ac.jp

一般演題発表者は、共同発表者を含めて、正会員であることが必要です。

会員でない方は、学会当日、年会費 3,000 円を学会事務局においてお支払いいただくか、下記郵便口座にお振り込みください。

加入者：近畿学校保健学会	加入者番号：00940-5-181826
〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘 3-11-1 関西福祉科学大学 大川研究室	
近畿学校保健学会事務局 TEL&FAX：072-947-1307	

別紙 1

※申込書は、学会ホームページからもダウンロードできます。

<http://kinki-sha.org/next/index.html>

※一般演題発表者は、共同研究者を含め、正会員であることが必要です。

第 64 回近畿学校保健学会演題申込書

演題名
発表者氏名，共同発表者氏名，所属（連名のときは発表者名の前に○印，新入会員には*印）
連絡先住所 〒 氏名 E-mail アドレス TEL&FAX
発表要旨（100 字程度）
◎「近畿学校保健学会奨励賞」受賞資格（一般演題の筆頭者で 40 歳未満とする。ただし，学生，大学院生は年齢を問いません。）を有しています。 （ ）【該当する場合は（ ）内に○をつけてください。】

注意事項

1. 演題申込締切：平成 29 年 4 月 14 日(金)（必着）
2. 申込書送付先：E-mail：gakuho64@wakayama-med.ac.jp
3. 申込書は、学会ホームページからダウンロードし、添付ファイルで事務局までメールで送信してください。
4. 記載事項の訂正はできませんのでご了承ください。
5. 近畿学校保健学会奨励賞に該当する方はご記入ください。
6. その他については、開催要項をご覧ください。
7. 抄録原稿は、作成要項に従い作成の上、E メール添付で送信ください。
抄録原稿の締切は、平成 29 年 5 月 19 日(金) です。

事務局使用欄

受付番号

抄録原稿受付日： 月 日

発表時間 : 7 月 1 日 時 分から 時 分まで（ 会場）

発表時間連絡 : 月 日

別紙 2

上余白 30mm

※本用紙は、学会ホームページからもダウンロードできます。

<http://kinki-sha.org/next/index.html>

※不要箇所を削除し、様式を整えてお使いください。

演題名 (12 ポイント, 中央, 強調文字)

○発表者氏名, 共同発表者氏名, 所属 (10 ポイント, 右寄せ)

【記入例】○和歌山太郎¹⁾, 紀州花子²⁾

1) 和歌山県立医科大学 2) 三葛サテライト

右余白 25mm

左余白 25mm

キーワード (3~5 個, 10 ポイント, 左寄せ)

本文 (2 段組, 10 ポイント, 1 段あたり 40 行, 1 行 24 文字)

【目的】

【方法】

【結果】

【考察】

- ・原稿は、A4 用紙 1 ページで、上下 30mm、左右 25mm
- ・演題名：中央に配置して、文字は 12 ポイントで強調文字
- ・1 行空けて、発表者氏名、共同研究者氏名、所属を右寄せにして、10 ポイント、発表者名の前に○印
- ・1 行空けて、キーワードを 3 から 5 個、左寄せにして 10 ポイント
- ・1 行空けて、本文
本文は 10 ポイントで 2 段組、1 段当たり 40 行、1 行 24 字、中央は 3 文字空ける
書体は、MS 明朝または MS ゴシック
- ・本文では、研究・実践目的、研究・実践方法、研究・実践結果および考察を明確に簡潔に記述
- ・抄録原稿の締切は、平成 29 年 5 月 19 日(金)

下余白 30mm

別紙 3

※申込書は、学会ホームページからもダウンロードできます。

<http://kinki-sha.org/next/index.html>

第 64 回近畿学校保健学会 事前参加申込書

平成 29 年 月 日申込

◎学会参加，懇親会参加，お弁当申し込みの方は，各該当欄に○印をつけてください。

氏 名	所 属	会 員 ・ 学 生 等	学 会 参 加	懇 親 会 参 加	お 弁 当 申 し 込 み
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			
		正会員 当日会員 大学院生 学部学生			

◎申込締切：平成 29 年 6 月 16 日(金)

E-mail 添付で，第 64 回近畿学校保健学会事務局にお申込みください。

E-mail : gakuho64@wakayama-med.ac.jp

◎お問合せ先

第 64 回近畿学校保健学会事務局

〒641-0011 和歌山市三葛 580 和歌山県立医科大学保健看護学部：宮井信行

Tel: 073-446-6700 Fax: 073-446-6720 E-mail: gakuho@wakayama-med.ac.jp

第5回研修セミナー

テーマ：「子どもたちの理解と子どもたちへの関わり方～非行少年や犯罪者の特徴から考える～」

講師：竹下三隆先生（元奈良少年刑務所教育専門官）

本学会では過去4回セミナーを実施して参りました。最初の2回は研究の進め方について、第3、4回は麻薬取締官のお話と施設見学により取締り現場と教育をつなぐ薬物乱用防止についての取り組みを行ってきました。今回の第5回セミナーは、しんどさを抱える子ども達への関わり方について考えることをテーマとして、平成28年12月4日（日）午後2時～4時、奈良市のやまと会議室で開催されました。参加者は総数24名、内訳は養護教諭6名、大学生7名、大学院生、小学校教諭、高校教諭、理学療法士、作業療法士、大学関係者など様々な職種の方に幅広くお集まりいただきました。

講演は、昨年奈良少年刑務所を定年退官された元教育専門官の竹下三隆先生を講師としてお招きし、これまで3千人以上の少年院の少年や少年刑務所の受刑者への心理面接や問題性別指導などを行って来られた中で得られた、子どもへの関わり方についてのお話しをしていただきました。最初に竹下先生自らアカペラで歌を歌われ、その場の雰囲気をもたせながら、セミナー参加者全員に漢字一文字で自分を表してもらおうアイスブレイクから始まりました。このアイスブレイクで自分と向き合うこと、気づき、承認、他者信用、自己表現ということに参加者にその場で体感してもらってから、受刑者とのこれまでのエピソードを交えながらそ

の意味についてお話しされ、また別のテーマについてグループワークを行うという参加型のセミナーで、あっという間の2時間でした。

セミナーの途中で印象に残ったフレーズを列举しますと、「自信には条件付き自信と根源的な自信がある。勉強などで得られる自信は前者で、自分がその場に居ても良いというのが後者であり、問題を起こす人は根源的な自信が欠けている」「受刑者はうまく甘えられない、感情を受け止めてもらえなかった人が多い」「他人に迷惑をかけないなど、子ども時代に大人であることを求める育て方は良くない」「プチ迷惑をかけるのが大切、プチ切れも大切」「人は教えられたことよりも、自分にされたことをする。優しくしてもらったら優しくできる」「ずっと打たれ続けていると心がマヒしてしまう」など、子どもとの関わり方に留まらず、自分自身の心のあり方についても考えさせられ、非常に有意義なセミナーで、参加者からも非常に好評でした。まだまだたくさんのネタをお持ちのようで、参加者からは自分の学校にも来て欲しいという声も聴きました。

学会員の皆さんの希望を聞きながら、こうした現場実践型のセミナーや研究を掘り下げるセミナーを今後も開催していきたいと思います。

（常任幹事 笠次良爾）



研修セミナーの風景

平成 28 年度
第 2 回近畿学校保健学会幹事会議事録

日時：平成 28 年 9 月 24 日（土）14:00～
16:00

場所：ホテルアウリーナ大阪 3F 二上の間

出席者：【幹事長】白石

【常任幹事】大川，後和

【幹事】（滋賀）板持，谷川

（京都）井上，上田，藤原

（大阪）古角，松永

（兵庫）森脇，中村

（奈良）高田

（和歌山）松本，宮下

（計 15 名敬称略・順不同）

欠席者：高野，藤居，森，楠本，吉岡，川畑，

鬼頭，西岡，春木，笠次，辻井，森岡

（計 12 名敬称略・順不同）

幹事会の開催に先立ち，第 63 回年次学会の開催地（滋賀県）の谷川幹事より，年次学会が成功裏に終えたことに対する感謝の言葉が述べられた。

議 題：

1. 監事の選出について

白石幹事長より，監事として平井美幸氏（大阪）と宮井信行氏（和歌山）の 2 名が推薦され，了承された。

2. 学会奨励賞の褒章について

後和常任幹事より，現在の学会奨励賞の褒章が年会費に充てられることについて，会計上の問題点を指摘するとともに，モチベーションを高めるためにも金額の増額の検討について提案したところ，表彰されることが意義あることであり，褒章そのもの

が不要でないか，また盾を授与しては等の意見がなされ，継続審議となった。

3. その他

特になし

報 告：

1. 学会通信 145 号の構成について

後和常任幹事より，資料をもとに学会通信 No.145 の概要が説明され，加筆訂正がなされた。なお，第 5 回研修セミナーの会場が未定となっているが，発行までに決定されることが報告された。

2. 年次計画について

白石幹事長より，資料をもとに会議日程等が説明された。

3. 学会新企画の取り運びについて

白石幹事長より，経緯について説明がなされ，「研究を発表する」および「論文にまとめる」と継続して学会通信に掲載することが確認された。

4. 新会員の勧誘について

白石幹事長より，新会員の獲得が急務である旨の説明がなされ，滋賀県での取組みの紹介や体育教師等の保健教育担当者の取り込み等の意見が出され，今後も新会員の勧誘方法について検討することとなった。

5. その他

第 3 回幹事会が 1 月 22 日に大阪教育大学で開催されることとなった。

関連学会開催日程

◇日本学校保健学会（第 64 回学術大会）

会長：面澤和子（弘前大学）

日時：平成 29 年 11 月 3 日（金）～5 日（金）

会場：宮城教育大学，仙台国際センター

* 詳細については日本学校保健学会のホームページ（<http://jash.umin.jp/annual/>）でご確認ください。

◇日本養護教諭教育学会（第 25 回学術集会）

会長：河田史宝（金沢大学）

期日：平成 29 年 10 月 7 日（土）～8 日（日）

会場：金沢大学角間キャンパス

* 詳細については日本養護教諭教育学会のホームページ（<http://yogokyoyu-kyoikugakkai.jp/wp/>）でご確認ください。

◇第 26 回 JKYB ライフスキル教育・健康教育ワークショップ

主催：JKYB ライフスキル教育研究会（代表 川畑徹朗）

期日：平成 29 年 7 月 22 日（土）～23 日（日）

会場：兵庫県伊丹市立文化会館「いたみホール」

* 詳細については JKYB ライフスキル教育研究会のホームページ（<http://www5c.biglobe.ne.jp/~jkyb/>）でご確認ください。

編集後記

今年度も早 1 年が終わろうとしています。年々エージングが進み、今考えていたことも横をむいたとたんに忘れていた自分に気づき不安になるときが多々あります。メモをしたつもりでもそのメモがどこにいったかわからないこともあり、これはいよいよ危ないなと感じている今日この頃です。

会員の先生方から、会費納入忘れの間合せメールがあり調べたらすでに振込済みであったり、年に 2 回も会費を振り込んでいただいたりする先生も少なからずおられ、自分だけではないのかなと少しホッとしています。とはいうものの……、まわりには私より年長ですがパワフルな先生方が多く、少しでもそのパワーをわけていただき、まだまだ頑張らねばと思っております。

来年度も、本学会が先生方のパワーでますます活発に活動できますよう、常任幹事一同精進していきたいと考えております。ご協力よろしく願いいたします。

（常任幹事 大川尚子）